

1. 科目名 (単位数)	人間環境学入門 (2 単位)	3. 科目番号	EIIE2103
2. 授業担当教員	鈴木 路子・山本 静雄・神宮 直人		
4. 授業形態	講義、ディスカッション	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係	履修条件はないが、生理学を既習していることが望ましい。解剖学、病原微生物学、免疫学概論、薬理学などの基礎科目を併せて履修すると理解が深まる。		
7. 講義概要	本講義は、「人間」と「環境」に関する基礎知識を広く学び、人間の発育、生活生存と各種環境問題との関連について多角的な視点から理解する力を養うことを目指すものである。「人間」と「環境」に関する多様な「学び」にふれながら、様々な視点から主体的・自律的なくらし方や健康問題を探究する力を身につける。具体的には、「人間」と「環境」に関する諸問題の現状の把握から代表的な思想を取り上げた上で、科学的な理解として、①人間の成長過程における体温調節能力をコアとした「適応のメカニズム」、②重要な生体防御機構である「免疫のしくみ」等について、くらしに役立つ情報と合わせて概説していく。		
8. 学習目標	(1) 「人間の健康にとって環境とは何か」という問いを深く探求する態度を身につける。 (2) 人間と環境に関する知見、基礎的な「適応のメカニズム」、「免疫のしくみ」に対する理解を深め、わかりやすく説明することができる。 (3) 本講義で学んだ知見をふまえ、主体的・自律的なくらし方や健康問題を探究する力を身につける。		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	(読解力向上に向けた課題) テーマごとに配布された資料を熟読し、要点を報告できるようにしておくこと。 (思考力向上に向けた課題) テーマごとにグループディスカッションを行い、グループで出した結論を発表すること。 (文章力向上に向けた課題) テーマごとに課題を設定し、小レポートを提出すること。		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】 適宜、資料を配布する。 【参考書】 鈴木路子『人間環境教育学』建帛社、2017 年。 鈴木路子・真野喜洋編『教育健康学』ぎょうせい、2010 年。 鈴木路子編『人間環境・教育福祉論』光生社、2007 年。 鈴木路子『くらしの科学としての人間環境学』福村出版、1995 年。		
11. 成績評価の規準と評定の方法	【評価の規準】 (1) 「人間の健康にとって環境とは何か」という問いを深く探求する態度を身につけることができたか。 (2) 人間と環境に関する知見、基礎的な「適応のメカニズム」、「免疫のしくみ」に対する理解を深め、わかりやすく説明することができたか。 (3) 本講義で学んだ知見をふまえ、主体的・自律的なくらし方や健康問題を探究する力を身につけることができたか。 【評定の方法】 ①授業態度 (40%) ②課題レポート (30%) ③期末レポート (30%) の成果によって決められる。		
12. 受講生へのメッセージ	(成績評価についてのお願ひ) 以下の方法で成績評価を行いたいのでご了承くださいようお願いいたします。 A) 対面授業を実施した場合の成績評価は、上記 11. によって行う。 B) オンライン授業を実施した場合の成績評価は、出席を 40%、課題レポートを 60%で判定する。 C) 上記 A) と B) の両方で授業を実施した場合には、実施した割合に基づいて両方の評価基準を採用する。		
13. オフィスアワー	別途通知する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	イントロダクションー「人間」と「環境」についての学び (鈴木担当) 【講義・グループワーク】	事前学習	シラバスで授業内容を確認してくる
		事後学習	この授業を受講する際のポイントをワークシートに整理すること
第 2 回	環境問題の多様性について①ー身近な環境問題 (神宮担当) 【講義・グループワーク】	事前学習	「身近な環境問題」について調べてくる
		事後学習	本時の授業のポイントをワークシートに整理すること
第 3 回	環境問題の多様性について②ー世界が抱える環境問題 (神宮担当) 【講義・グループワーク】	事前学習	「世界が抱える環境問題」について調べてくる
		事後学習	本時の授業のポイントをワークシートに整理すること
第 4 回	人間と環境に関する思想の歴史①: 人間中心主義・自然中心主義について (神宮担当) 【講義・グループワーク】	事前学習	配布資料を読んでくる
		事後学習	本時に学んだキーワードと重要人物に関してワークシートに整理すること
第 5 回	人間と環境に関する思想の歴史②: エコロジー・持続可能性について 【講義・グループワーク】 課題レポート: なぜ環境問題を放置できないのか。その理由を述べなさい。(神宮担当)	事前学習	配布資料を読んでくる
		事後学習	本時に学んだキーワードと重要人物に関してワークシートに整理すること
第 6 回	環境に対する科学的な理解ー適応のメカニズム①: 温熱	事前学習	配布資料を読んでくる

	生理学の視点から、②：人間生態学的視点から (鈴木担当) 【講義・グループワーク】	事後学習	本時に学んだ重要事項に関してワークシートに整理すること
第7回	環境に対する科学的な理解①－身近な環境中に存在する主な病原体とアレルゲン（アレルギーを惹起する物質）、それらに起因する疾病（山本担当）	事前学習	資料を読んでおく
		事後学習	大気、土壌、水の中に生息している主な病原体を分類し、感染経路と予防法を整理する
第8回	環境に対する科学的な理解②－病原体に対する免疫のしくみ：有益な免疫現象（感染症の防御）の発現（山本担当）	事前学習	配布資料を読んでおく
		事後学習	免疫現象について整理する
第9回	環境に対する科学的な理解③－アレルゲンに対する免疫のしくみ：有害な免疫現象（アレルギー）の発現と予防法。アナフィラキシーへの対処法（山本担当）	事前学習	配布資料を読んでおく
		事後学習	環境中のアレルゲンを存在場所別に整理し、アレルゲンの感作を防ぐ方法を考える
第10回	環境に対する科学的な理解④－身近な環境下に生息する危険な生物（毒蛇、蜂、マダニ、蚊、有毒海生生物）と対策（山本担当）	事前学習	配布資料を読んでおく
		事後学習	各自が居住する地域における危険な生物について整理し、夏に山林への遠足を計画する上で留意すべき事項を整理する
第11回	環境に対する科学的な理解⑤－近年の環境汚染の実状 課題レポート：飛沫・エアロゾル感染、間接的な接触感染をする SARS-CoV-2 の感染を防ぐ上で有効な方策について述べなさい。（山本担当）	事前学習	配布資料を読んでおく
		事後学習	近年の環境汚染物質と 30 年以上前の環境汚染物質の違いについて考える
第12回	主体的・自律的なくらしに向けて私たちにできること①－学校教育・健康教育とのつながり（神宮担当） 【講義グループワーク・】	事前学習	「学校での取り組み」について調べてくること
		事後学習	各グループの発表についての講評を書いてくること
第13回	主体的・自律的なくらしに向けて私たちにできること②－地域社会とのつながり（鈴木担当） 【講義・グループワーク】	事前学習	「地域での取り組み」に関して調べてくること
		事後学習	各グループの発表についての講評を書いてくること
第14回	循環型社会の実現に向けて －「持続可能な社会」を実現する人材の育成（鈴木担当） 【講義・グループワーク】	事前学習	配布資料を読んでくること
		事後学習	本時に学んだ重要事項に関してワークシートに整理すること
第15回	期末レポート：授業のふり返りとまとめ／授業評価－3つの到達目標の確認と到達度の自己評価－（鈴木担当）	事前学習	配布資料やワークシート等で本授業の学習内容をふり返り、自己の成果と課題を報告できるようにしておくこと
		事後学習	シラバスに記載された本科目の学習目標を達成するための3つの到達目標を確認し、その到達度を自己評価する